



毎日、暑い日が続いています。子どもたちは暑さに負けず、学校でいろいろな活動を通してしっかり学び大きく成長しました。4、5月には、参観日や個別懇談、運動会など多くの行事があり、大勢の保護者の方にご来校いただきました。保護者の皆様には、学校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき、感謝いたします。元気で充実した夏休みを過ごしてください。



## \*地域の方々に支えられて…\*

今年度からスクールバスが1台増え、計6台での運行が始まりました。長年支えてくださっている「両備バス」「下電バス」に加え、今年度からは新たに「カーワークス」の皆様にも運行をお願いしています。

スクールバスの運行は、バス会社だけでなく、乗降場所や保護者駐車場を提供して下さる地域の方々の多大なご協力があって成り立っています。まずは、新設された「Fバス」の運行にあたり、温かいご厚意をいただいた皆様をご紹介します。

### あきらめかけた中で起きた、地域連携の「奇跡」



車椅子を利用する児童生徒が安全に乗降できる場所を探すため、コース沿いの企業や飲食店にお願いに回りましたが、「敷地内での事故が心配」と断られることが続き、半ばあきらめかけていました。

そんな時、Fバスを運行する「株式会社カーワークス 代表取締役社長 金島義和 様 と 常務取締役 金島義樹 様」がコース沿いを私たちと長時間、一緒に歩いて乗降場所を探してくださいました。「協力してくれる人がいる」という心強さに期待が膨らむ中、本当に奇跡が起きました。

金島社長に促されてアポイントなしで訪問した「岡山県厚生農業協同組合連合会 代表理事常務 岡部健司 様」が、その場で熱心に話を聞いてくださり、「JA グループとして何とか協力したい」と言ってくださったのです。その後もJA厚生連の皆様は、敷地内に安全に停車するための方法を親身になってご提案くださいました。関係者の皆様の熱意のおかげで、車椅子利用の児童は、安全に登校できています。

### 広がる支援の輪、5組の地域の方々への感謝

このJA厚生連での乗降においては、保護者の駐車スペース確保という課題が残っていました。ここでも地域の皆様が手を差し伸べてくださいました。

「アーバンホール 西川原ホール 支配人 檀上佑樹 様」は、「第1駐車場が満車になったら…」と、第2・第3駐車場まで快くご案内いただきました。

「デイサービスセンターアルフィック東川原 管理者 坂本まどか 様」は、「車椅子利用の児童が雨の日に困るから」と、駐車スペースを快く提供してくださいました。

「中華そば専門店天下一品 岡山西川原店 店長 様」は、登校時のバスの乗降場所として、駐車場利用を快く承諾してくださいました。

Fバスの運行は、これら5組の地域・企業の皆様の温かいご厚意によって支えられています。子どもたちの安全な毎日のため、多大なご協力をいただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。

次項は2つのケースの紹介です。

## 会社の垣根を越えた連携が、生徒の安全を叶える

### 安全な駐車場の確保



車椅子を利用している児童生徒も乗車できるような「バスが出入りでき、広くて安全が保障された場所」を確保することが課題となっています。現地に足を運び、探しますが、交通量が多い場合や、敷地スペースの兼ね合いから、条件に合う場所が見つからず、解決の糸口が見えないまま苦慮することとなります。

この度、この課題に救いの手を差し伸べてくださったのが、長年お世話になっている「両備バス」と、地域の交通を支える「岡山交通」の皆様でした。2つの会社が、学校の、そして児童生徒の安全のために強い連携を取ってくださったのです。そして話し合いを重ねていただいた結果、「岡山交通」様の営業所の敷地内を、バスの乗車場所として特別に使わせていただけることになりました。言うまでもなく、朝の時間帯は多くのタクシーやバスが行き交う会社にとって忙しい時間帯です。そんな時間帯に、大型スクールバスを敷地内に入れるのは容易なことではありません。岡山交通と両備バスの皆様は、実際にバスを現場に走らせ、敷地内で安全に転回（Uターン）ができるかどうかを入念に確認してくださいました。児童生徒が安全に、安心して学校に通えるように、会社の垣根を越えて尽力してくださった両社の多くの方々のご厚意に心より深く感謝申し上げます。

## 不安や焦りを吹き飛ばした、迅速で温かい「即決」

### 送迎用駐車場の確保



前述のとおり送迎用駐車場の確保が課題となることがあります。これまで長年にわたり保護者の皆様の送迎用駐車場として大変お世話になっていた商業施設が、この度、大規模な改修工事に入ることになり、工事期間中は駐車場利用ができなくなるため、代替りの場所を見つけなければならないという課題に直面しました。

そんな時、校長が前任校で大変お世話になっていたご縁から、「(マルナカを運営する)株式会社フジ岡山・山陰店舗運営本部店舗支援グループ 小林弘子 様」にご連絡をさせていただきました。事情をお話すると、小林様はすぐに現場である「マルナカ高屋店 店長 大森正文 様」へ直接お話を繋いでくださいました。

代替地が見つかるまで、また何日も地域を歩き回って探すことになるかもしれないと覚悟していた矢先に事態は驚くほどのスピードで進みました。大森店長は、大規模工事直前という、お店にとって多忙で神経を使う時期であったにもかかわらず、面会時間を作ってくださいました。そして私たちの話を聞いてくださるとお店の敷地を確保することを快諾してくださったのです。小林様と大森店長のお二人の、迅速で温かいご対応のおかげで、不安や焦りを感じる間すらありませんでした。心より感謝申し上げます。

それぞれのバスのコースで直面した課題は、地域の皆様のご厚意によって、一つひとつ乗り越えることができました。本校は、これほど多くの地域の方々、企業の皆様に温かく見守られ、支えられている学校であるということに改めて気付かされ、そのことを誇りに思いました。これからも児童生徒の安心・安全な毎日を守り、地域と共に歩んでまいります。ご協力いただきましたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

今回ご紹介いたしましたように、新たな運行ルートや駐車場、代替駐車場の確保にあたっては、地域の多くの企業や団体の皆様が温かい手を差し伸べてくださいました。

スクールバスのスムーズな運行は、こうした地域の皆様のご厚意と、マナーを守って送迎をしてくださる保護者の皆様のご協力があって初めて成り立っています。どうぞ保護者の皆様におかれましても、地域への感謝と敬意の気持ちを大切にしながら、安全な登下校へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。